

＜大熊町の皆様へ 環境省からのお知らせ＞

大熊町 中央台仮置場から除去土壌等を中間貯蔵施設へ輸送します。

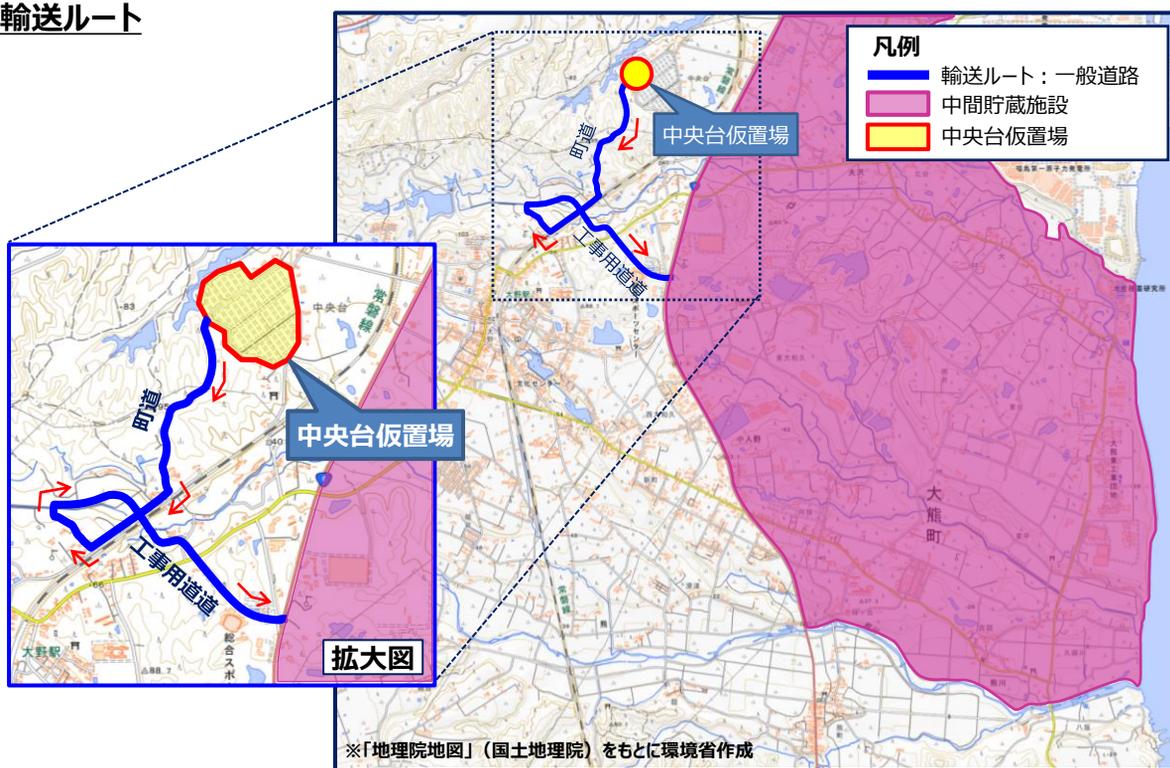
大熊町中央台仮置場から中間貯蔵施設へ2025年度は30,000m³程度の除去土壌等を輸送する予定です（天候や道路交通等の状況により、輸送期間が変更されることがあります）。

【1日の基本的な作業の流れ】

- ・輸送時間・・・7:00～18:00（交通状況等により、延長の可能性あります。）
- ・輸送車両・・・大型車両（10tダンプトラック）10台程度で、1日4～5回輸送します。
※天候や道路交通等の状況、又は作業の進捗状況により変更の可能性あります。
※原則として、日曜日、お盆、お彼岸及び年末年始期間は輸送を実施しません。

輸送車両には、除去土壌等を輸送していることを明示する表示を行います。また輸送車両が中間貯蔵施設から退出する前には車両表面の放射線量を測定（スクリーニング）し、基準値以上であれば洗浄等を行うことにより、周辺道路等の汚染の防止を徹底します。このほか、輸送に当たっての主な安全対策については裏面を御参照下さい。

輸送ルート



輸送車両

環境省
除去土壌等搬
運車



（前部表示）

環境省
中間貯蔵輸送車両 ベースカー
規制速度を守って走行中



（後部表示（鳥居部））



（荷姿（荷台シート））

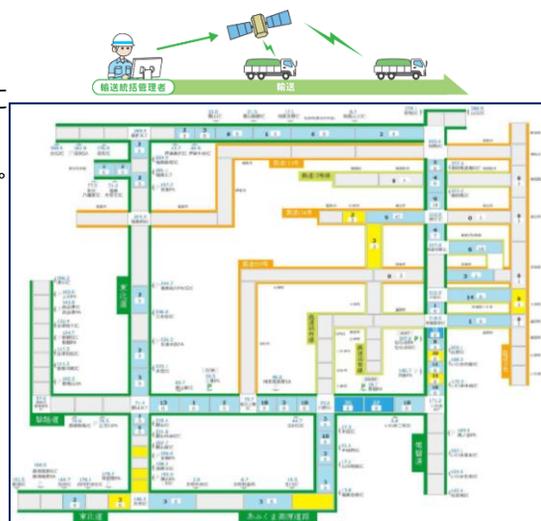
環境省 「除染と中間貯蔵施設に関するお問い合わせ窓口」

フリーダイヤル： 0120-027-582 （受付時間 9:30～18:15 ※日・祝日除く）

除去土壌等の輸送に当たっての主な安全対策

1 輸送対象物と輸送車両の一元的な管理

- 輸送対象物（除去土壌等を入れた全ての大型土のう袋等）に内容物や重量などが分かるタグ（札）を付け、全数管理します。
- 輸送車両の状況はGPS※で常時把握し、万が一問題が生じた場合にもすぐに対応できるようにします。
※GPS：数個の衛星からの信号を受信機で受け取り、受信者が現在位置を知るシステム。
- 上記情報を環境省と環境省の委託業者（JESCO※）が一元的に管理し、安全な輸送を行います。
※JESCO：中間貯蔵・環境安全事業株式会社（政府全額出資の特殊会社）



〈除去土壌等の輸送車両の走行状況〉



2 除去土壌等の流出防止対策

- 除去土壌等は大型土のう袋等に入れて輸送します。
- 大型土のう袋に破損等が確認された場合は状況に応じ修繕もしくは新しい大型土のう袋に詰込みます。
- 輸送車両の荷台をシートで覆うことなどにより飛散を防止します。



3 運転者等の教育

- 輸送作業に従事する前に、輸送車両の運転者等に対して教育や研修を行い、本事業の重要性や放射性物質に汚染された土壌等を扱うに当たっての意識と技能等を高めます。



4 輸送ルート上の道路交通対策

- 輸送ルート上に狭い道路や注意が必要な場所があれば、交通誘導員の配置や、注意喚起の看板の設置を行います。
- 輸送車両は、常に一般車両や一時帰宅者に配慮して、事故防止を徹底します。



5 中間貯蔵施設区域内におけるスクリーニング

- 輸送車両が中間貯蔵施設区域内から退出する前には放射線量を測定（スクリーニング）し、基準値以上であれば洗浄等を行うことにより、周辺道路等の汚染の防止を徹底します。



環境省 「除染と中間貯蔵施設に関するお問い合わせ窓口」

フリーダイヤル： **0120-027-582** （受付時間 9：30～18：15 ※日・祝日除く）